



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 日本精鉱株式会社 上場取引所 東
コード番号 5729 URL <https://www.nihonseiko.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）植田 憲高
問合せ先責任者 （役職名）取締役企画管理部長 （氏名）大西 芳太郎 TEL 03-3235-0021
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月2日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	20,839	91.9	4,802	419.7	4,755	438.9	3,301	445.9
2025年3月期中間期	10,859	37.7	924	344.5	882	276.7	604	274.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,328百万円（448.4%） 2025年3月期中間期 607百万円（262.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	1,348.61	—
2025年3月期中間期	247.37	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	24,337	14,938	61.4
2025年3月期	20,937	11,932	57.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 14,938百万円 2025年3月期 11,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	140.00	200.00
2026年3月期	—	170.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	170.00	340.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,200	59.7	5,300	47.3	5,200	47.3	3,550	44.5	1,450.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	2,605,900株	2025年3月期	2,605,900株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	154,985株	2025年3月期	158,617株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	2,448,450株	2025年3月期中間期	2,445,040株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載のとおりです。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善の動きなどにより、緩やかに回復の動きが続いています。一方、世界的な物価上昇の継続と金融資本市場の変動の影響、原材料やエネルギー価格の高止まりと円安に伴う国内物価の上昇が消費に影響を及ぼしており、加えて中国経済の先行き懸念、中東の情勢など地政学リスクの高まり、米国の通商政策など、依然として先行き是不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、当社創立100周年となる2035年時点のありたい姿を想定し設定した長期ビジョンに基づき、2025年4月よりスタートした「第2の創生(創立100周年)に向けた基盤づくりのための挑戦と変革」をテーマとする3カ年の中期経営戦略において、「グループ連携の更なる強化」「既存事業の競争力強化とグローバル展開への挑戦」「最適な事業ポートフォリオの構築と新規事業の創出」「人的資本の充実とESGへの取り組み」という基本方針のもと、持続的成長と中長期的な企業価値向上に取り組んでおります。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比9,980百万円増収(91.9%増収)の20,839百万円、営業利益は同3,878百万円増益(419.7%増益)の4,802百万円、経常利益は同3,873百万円増益(438.9%増益)の4,755百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同2,697百万円増益(445.9%増益)の3,301百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、主産地である中国において、国内外のアンチモン鉱石不足や環境監査などによる地金生産の減少、太陽光パネル向け需要の拡大などにより急速に需給が逼迫し、相場が急上昇しました。また中国当局が2024年9月15日よりアンチモン地金の輸出管理を実施するとの公告を発表し、同年12月3日には対米輸出は原則として許可しないと発表したことを受けて、市場では最高値の更新が相次いでいましたが、需要が落ち着いてきたことにより、第1四半期末をピークとして、第2四半期は軟化基調で推移しています。当中間連結会計期間の平均価格は、トン当たり約57,930ドルとなり、前年同期比約173%の上昇、円建てでは同約161%の上昇となりました。なお、第2四半期の平均価格は第1四半期の平均価格に比べ、ドル建てで約4%の下落、円建てで約2%の下落となっております。

同事業の主製品である三酸化アンチモンには様々な用途があります。主たる用途は、プラスチック材料の難燃剤です。プラスチックは、自動車、家電、産業機械、住宅などに用いられる電化製品の電気絶縁材料として広く用いられていますが、一般に燃えやすい性質を持っています。そのようなプラスチックにハロゲン系難燃剤と共に三酸化アンチモンを添加することで、高い難燃性を付与して電気機器の短絡や劣化による発火のリスクを減らし、火災による人的被害や経済的損失を防止することに大きく貢献しています。

同事業の販売状況につきましては、製造業全般の生産がやや軟調に推移し、さらに中国などからのOEM品の調達に困難となったことから、販売数量は前年同期比414トン減少(16.9%減少)の2,035トンとなりました。

その結果、同事業の当中間連結会計期間の売上高は、販売価格の上昇から、前年同期比10,117百万円増収(173.8%増収)の15,936百万円となりました。セグメント利益は、生産効率の改善や在庫の影響もあり、同4,101百万円増益(754.3%増益)の4,644百万円となりました。

[金属粉末事業]

同事業の主原料である銅の国内建値は、当中間連結会計期間平均でトン当たり約1,461千円となり、前年同期比2.4%の下落となりました。

同事業の主製品は、電子部品の導電材料向け銅およびその他の金属粉末、パワーインダクタ向けの鉄系合金粉、自動車部品や産業機械部品などの粉末冶金製品向けの焼結材料としての金属粉末で、各種製品の高機能化や利便性に貢献しています。

また、DXの推進、IoTやAIの活用、5G対応端末の普及、自動車のEV化やエレクトロニクス化の流れなどを背景に電子部品のニーズは高まっています。

電子部品向け金属粉末の販売状況につきましては、ハイエンドのスマートフォンやAIサーバー市場向けは堅調に推移しましたが、ローエンドのスマートフォンや自動車関連市場向けでは競合が激しく、販売数量は前年同期比134トン減少(23.6%減少)の435トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉末の販売状況につきましては、自動車部品向けが低調であったことから販売数量は前年同期比131トン減少(17.5%減少)の618トンとなりました。

全体の販売数量は前年同期比265トン減少(20.1%減少)の1,053トンとなりました。

その結果、同事業の当中間連結会計期間の売上高は、販売数量の減少等により、前年同期比142百万円減収(2.8%減収)の4,883百万円となりました。セグメント利益は、受注減少による操業度低下等から同223百万円減益(61.7%減益)の138百万円となりました。

[その他]

不動産賃貸事業等の当中間連結会計期間の売上高は19百万円、セグメント利益は2百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末比3,399百万円増加の24,337百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末比3,132百万円増加の18,105百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,371百万円、商品及び製品が1,291百万円、受取手形及び売掛金が380百万円、原材料及び貯蔵品が277百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比267百万円増加の6,232百万円となりました。これは主に有形固定資産が234百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比394百万円増加の9,398百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末比514百万円増加の8,057百万円となりました。これは主に短期借入金が698百万円減少したものの、未払法人税等が410百万円、支払手形及び買掛金が298百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末比120百万円減少の1,341百万円となりました。これは主に長期借入金が99百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比3,005百万円増加の14,938百万円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純利益により3,301百万円増加したこと及び配当により342百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年9月24日に公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」及び「2026年3月期業績予想及び配当予想の修正に関する補足説明資料」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,128,680	3,500,467
受取手形及び売掛金	5,109,073	5,490,049
商品及び製品	3,823,709	5,115,565
仕掛品	404,737	474,890
原材料及び貯蔵品	3,100,380	3,378,019
その他	423,614	164,308
貸倒引当金	△17,346	△18,272
流動資産合計	14,972,851	18,105,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,483,130	2,470,271
機械装置及び運搬具(純額)	937,612	996,229
土地	1,436,191	1,436,191
その他(純額)	424,175	612,686
有形固定資産合計	5,281,110	5,515,379
無形固定資産	136,406	126,302
投資その他の資産	547,184	590,514
固定資産合計	5,964,701	6,232,196
資産合計	20,937,553	24,337,224

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,388,240	2,686,346
電子記録債務	333,459	332,152
短期借入金	2,965,100	2,266,800
未払法人税等	1,121,760	1,532,502
賞与引当金	252,515	243,638
その他	481,238	995,676
流動負債合計	7,542,314	8,057,116
固定負債		
長期借入金	726,400	627,400
退職給付に係る負債	365,295	354,501
資産除去債務	38,391	38,641
その他	332,310	321,109
固定負債合計	1,462,397	1,341,652
負債合計	9,004,711	9,398,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	580,107	597,130
利益剰余金	10,412,225	13,371,603
自己株式	△149,730	△147,336
株主資本合計	11,860,730	14,839,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,382	85,831
為替換算調整勘定	17,728	13,101
その他の包括利益累計額合計	72,111	98,932
純資産合計	11,932,841	14,938,455
負債純資産合計	20,937,553	24,337,224

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	10,859,405	20,839,425
売上原価	9,325,352	15,307,339
売上総利益	1,534,052	5,532,085
販売費及び一般管理費	609,906	729,377
営業利益	924,146	4,802,707
営業外収益		
受取配当金	3,350	4,878
助成金収入	4,287	5,913
保険解約返戻金	8,039	7,201
その他	2,473	9,015
営業外収益合計	18,150	27,009
営業外費用		
支払利息	15,735	42,571
為替差損	39,579	24,707
休止鉱山費用	4,122	6,011
その他	485	925
営業外費用合計	59,924	74,217
経常利益	882,373	4,755,500
特別利益		
固定資産売却益	835	—
特別利益合計	835	—
特別損失		
固定資産除却損	231	1,841
特別損失合計	231	1,841
税金等調整前中間純利益	882,977	4,753,658
法人税、住民税及び事業税	290,877	1,461,279
法人税等調整額	△12,731	△9,617
法人税等合計	278,145	1,451,661
中間純利益	604,831	3,301,996
親会社株主に帰属する中間純利益	604,831	3,301,996

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	604,831	3,301,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,296	31,448
為替換算調整勘定	4,509	△4,627
その他の包括利益合計	2,213	26,821
中間包括利益	607,045	3,328,818
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	607,045	3,328,818

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,819,503	5,025,427	10,844,931	14,473	10,859,405	—	10,859,405
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	25,399	25,399	834	26,234	△26,234	—
計	5,819,503	5,050,826	10,870,330	15,308	10,885,639	△26,234	10,859,405
セグメント利益	543,701	362,665	906,366	3,542	909,908	14,238	924,146

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額14,238千円はセグメント間取引の消去14,238千円であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	15,936,702	4,883,179	20,819,882	19,543	20,839,425	—	20,839,425
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	28,268	28,268	809	29,078	△29,078	—
計	15,936,702	4,911,447	20,848,150	20,352	20,868,503	△29,078	20,839,425
セグメント利益	4,644,760	138,747	4,783,507	2,770	4,786,277	16,429	4,802,707

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額16,429千円はセグメント間取引の消去16,429千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。